



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3799 URL <https://www.keyware.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 広報IR室長 (氏名) 北川 久美子 (TEL) 03-3290-1111
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,606	7.6	382	137.8	652	61.4	511	93.5
2023年3月期第3四半期	13,570	3.7	160	△35.1	404	△4.3	264	△4.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 526百万円(91.2%) 2023年3月期第3四半期 275百万円(6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	63.55	—
2023年3月期第3四半期	32.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,212	8,242	73.5
2023年3月期	11,153	7,807	70.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,242百万円 2023年3月期 7,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.3	800	8.3	1,000	8.5	700	45.0	86.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	9,110,000株	2023年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,059,061株	2023年3月期	1,070,061株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	8,046,539株	2023年3月期3Q	8,035,866株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(受注の状況)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症へ引き下げられるなど、社会経済活動の正常化が進むなかで、緩やかに持ち直しの動きがみられました。一方で、ウクライナ、中東情勢などの地政学的リスクや世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れリスクに加えて、資源価格の高騰や円安による物価上昇により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業につきましては、本年1月に経済産業省が発表した2023年11月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比4.0%増と20ヵ月連続で前年を上回ったほか、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」も前年同月比8.1%増と20ヵ月連続で前年を上回りました。

このような事業環境のもと、当社グループは、2023年3月期より5ヵ年中期経営計画「Vision2026」をスタートし、「基盤事業の質的転換」「プライムビジネス^(※)の拡大」「新領域へのチャレンジ」の3つの基本方針のもと、事業拡大と高収益化の実現に向けて取り組んでおります。

5ヵ年中期経営計画「Vision2026」の2年目となる当連結会計年度は、「基盤事業の質的転換」に向けて、引き続きプロダクトやクラウドサービスなどの活用拡大や、2021年に資本業務提携を締結した3社(株式会社JR東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社)との連携の強化、請負案件の拡大、不採算案件の抑制等の取り組みを進めました。また、医療ソリューション事業の体制強化に向けた検討を進め、グループ子会社に分散している医療ソリューション事業を本年4月より当社に集約することを決定しました^(※2)。「プライムビジネスの拡大」に向けては、ERPパッケージを活用した基幹システム刷新の提案活動を推進したほか、DX推進のファーストステップであるデジタルデータへの変換・投入・蓄積・利活用を支援するソリューション「DXファーストステップソリューション」を展開し、各種イベントや展示会に出展しました。「新領域へのチャレンジ」に向けては、サイバーセキュリティ領域において、セキュリティインシデントに対応する専門組織である「CSIRT」の設置準備を開始したほか、デジタル金融領域において案件に参画するなど、事業機会の創出に向けた取り組みを進めております。

(※)当社グループでは、お客さまと直接契約を結びサービスやソリューションを提供する事業を「プライムビジネス」と称しております。

(※2)詳細は、2024年1月17日公表資料「医療ソリューション事業のグループ集約に関するお知らせ」をご参照ください。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は14,541百万円(前年同期比1,370百万円増、10.4%増)、売上高は14,606百万円(同1,035百万円増、7.6%増)、営業利益は382百万円(同221百万円増、137.8%増)となりました。営業外収益として持分法による投資利益266百万円を計上したことなどにより、経常利益は652百万円(同248百万円増、61.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は511百万円(同247百万円増、93.5%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は9,824百万円(前年同期比1,204百万円増、14.0%増)、売上高は9,939百万円(同1,217百万円増、14.0%増)、営業利益は430百万円(同4百万円増、1.1%増)となりました。

受注高につきましては、官庁系、公共系での既存案件拡大、医療系、クラウド系での案件獲得に加え、2022年7月に設立しシステム開発事業に含めたキーウェア東北株式会社が2023年1月にいわぎんリース・データ株式会社のシステム部門の事業を承継し事業を本格稼働させたことなどにより、前期比で増加いたしました。売上高につきましては、キーウェア東北株式会社の事業開始による純増に加え、公共系において前期に受注した大型案件の開発が順調に進捗したことなどにより、前期比で増加いたしました。営業利益につきましては、売上高の増加などにより、前期比で増加いたしました。

② S I 事業

受注高は3,618百万円(前年同期比288百万円増、8.7%増)、売上高は3,532百万円(同56百万円減、1.6%減)、営業利益は9百万円(前年同期は115百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、基幹システム系、インフラ系での案件獲得などにより、前期比で増加いたしました。売上高につきましては、前述の案件獲得などによる増加要因があったものの、前期から継続している基幹システム系案件の開発収束や顧客都合により一部大型案件の受注時期が遅れたことなどが影響し、前期比で減少となりました。損益面につきましては、前期から継続していた不採算案件が収束したことなどにより損失は解消され、利益計上となりました。

③ その他事業

受注高は1,098百万円(前年同期比121百万円減、10.0%減)、売上高は1,134百万円(同125百万円減、10.0%減)、営業損失は40百万円(前年同期は127百万円の損失)となりました。

受注高および売上高につきましては、サポートサービス系などが軟調に推移し、前期比で減少いたしました。損益面につきましては、売上高の減少などが影響し損失計上となったものの、販売費及び一般管理費の抑制などに努めた結果、前期比で損失を縮小させることが出来ました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、7,240百万円(前連結会計年度末比128百万円減、1.7%減)となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加、売掛金の減少、契約資産の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,972百万円(前連結会計年度末比188百万円増、5.0%増)となりました。主な変動要因は、投資有価証券の増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,541百万円(前連結会計年度末比473百万円減、15.7%減)となりました。主な変動要因は、買掛金の減少、未払法人税等の減少、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、428百万円(前連結会計年度末比98百万円増、29.9%増)となりました。主な変動要因は、繰延税金負債の増加であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、8,242百万円(前連結会計年度末比434百万円増、5.6%増)となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2023年5月12日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として第4四半期に認識される収益の割合が高くなる傾向にあるため、第3四半期連結累計期間の損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

ウクライナ情勢や中東情勢などの地政学的リスクにつきましては、現時点において当社グループの事業および業績全体に与える影響は軽微であると考えております。また、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震につきましては、当社グループの社員およびその家族や当社グループの各種設備、取引先等からの被害報告等はなく、現時点において当社グループの事業および業績全体に与える影響は軽微であると考えております。しかしながら、当初の予想を超えた状況悪化等により当社グループの事業へ重大な影響が生じた場合には、その状況および影響度合いについて速やかに開示を行うことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,038,580	1,513,604
受取手形、売掛金及び契約資産	6,086,449	5,238,902
電子記録債権	15,143	42,371
商品及び製品	10,938	59,580
仕掛品	10,695	36,059
その他	211,342	354,152
貸倒引当金	△4,211	△4,521
流動資産合計	7,368,938	7,240,150
固定資産		
有形固定資産	100,484	116,946
無形固定資産		
のれん	189,847	167,458
その他	297,328	280,779
無形固定資産合計	487,175	448,237
投資その他の資産		
投資有価証券	3,007,150	3,237,245
その他	189,998	169,967
貸倒引当金	△482	△45
投資その他の資産合計	3,196,666	3,407,168
固定資産合計	3,784,327	3,972,352
資産合計	11,153,265	11,212,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,098,329	975,318
未払法人税等	214,604	52
賞与引当金	714,943	412,607
受注損失引当金	4,161	1,852
その他	983,203	1,151,658
流動負債合計	3,015,242	2,541,489
固定負債		
退職給付に係る負債	195,286	191,670
資産除去債務	121,899	127,317
その他	12,883	109,871
固定負債合計	330,069	428,859
負債合計	3,345,312	2,970,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	757,936	758,807
利益剰余金	5,894,469	6,305,916
自己株式	△629,076	△622,578
株主資本合計	7,760,566	8,179,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,416	65,224
退職給付に係る調整累計額	△1,030	△2,454
その他の包括利益累計額合計	47,386	62,770
純資産合計	7,807,952	8,242,154
負債純資産合計	11,153,265	11,212,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,570,769	14,606,744
売上原価	11,428,828	12,066,846
売上総利益	2,141,941	2,539,898
販売費及び一般管理費	1,980,948	2,157,071
営業利益	160,992	382,826
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	3,322	3,933
持分法による投資利益	238,826	266,422
その他	30,972	35,135
営業外収益合計	273,129	305,499
営業外費用		
支払利息	1,620	1,153
支払手数料	10,704	34,590
投資事業組合運用損	6,083	—
その他	11,435	232
営業外費用合計	29,843	35,976
経常利益	404,278	652,349
税金等調整前四半期純利益	404,278	652,349
法人税等	139,953	140,974
四半期純利益	264,325	511,375
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	264,325	511,375

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	264,325	511,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,377	11,913
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,160	3,470
その他の包括利益合計	11,216	15,383
四半期包括利益	275,541	526,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,541	526,759
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	8,721,938	3,589,312	1,259,519	13,570,769	—	13,570,769
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	327,701	—	99,564	427,266	△427,266	—
計	9,049,639	3,589,312	1,359,084	13,998,035	△427,266	13,570,769
セグメント利益 又は損失(△)	425,924	△115,562	△127,737	182,625	△21,633	160,992

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△21,633千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	9,939,832	3,532,897	1,134,014	14,606,744	—	14,606,744
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	223,048	7,634	122,763	353,446	△353,446	—
計	10,162,881	3,540,531	1,256,777	14,960,190	△353,446	14,606,744
セグメント利益 又は損失(△)	430,654	9,790	△40,504	399,939	△17,112	382,826

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△17,112千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(受注の状況)

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
システム開発事業	9,824,809	14.0	3,975,986	18.2
S I 事業	3,618,205	8.7	1,267,611	4.9
その他事業	1,098,770	△10.0	227,681	△3.2
合計	14,541,785	10.4	5,471,280	13.8

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。